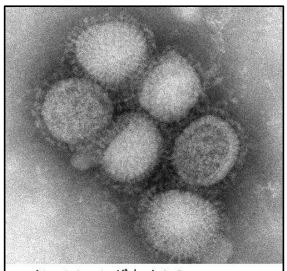
山口県感染症発生週報 （第39週：平成23年9月26日～10月2日）

1 全数把握感染症

【2類感染症】
◆**結核**：第38週追加：1例（周南）。第39週：4例（下関、柳井、周南2例）。
【3類感染症】
◆**腸管出血性大腸菌感染症**：第39週：1例（下関 O157:VT2）。


インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症（5類感染症）

(1)特記事項

◆**インフルエンザ**：周南、柳井、宇部から患者発生報告があり、報告数が急増しました。迅速検査では、A型陽性45例、臨床診断1例でした。また、当所のPCR検査ではA/H3型が2例検出されました。周南市では集団発生により、学級閉鎖をした幼稚園もあります。
◆**RSウイルス感染症**：増加傾向が続いていますので、今後の動向に注意が必要です。特に宇部、周南からの報告が目立ちます。
◆**咽頭結膜熱**：例年と同程度の報告数ですが、長門地域は多い状況です。【警報レベル＝長門】※
◆**手足口病**：第27週をピークに減少傾向にありますが、多くの地域では警報レベルが続いています。【警報レベル＝長門、山口、周南、防府、萩、下関、柳井】※
◆**伝染性紅斑**：過去4年間の同時期と比較すると、今年は4年ぶりに高い水準で推移しています。【警報レベル＝長門】※
◆**ヘルパンギーナ**：減少しています。【警報レベル＝萩】※
◆**流行性耳下腺炎**：下関、岩国では過去4年間の同時期と比較してやや多い状況が続いています。【注意報レベル＝下関】※
◆**マイコプラズマ肺炎**：報告数が多い状況です。全国的にも例年と比較してかなり多い状況です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuiho.php

(2)週別発生状況

疾患名	37週	38週	39週	疾患名	37週	38週	39週
インフルエンザ	1	0	46	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	38	50	59	ヘルパンギーナ	56	40	31
咽頭結膜熱	18	13	13	流行性耳下腺炎	37	22	51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	52	63	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	172	129	195	流行性角結膜炎	3	9	3
水痘	32	25	18	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	198	138	127	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	23	12	16	マイコプラズマ肺炎	7	2	13
突発性発しん	47	29	26	無菌性髄膜炎	2	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	4	40	0	0	2	0	0	46
RSウイルス感染症	10	4	2	17	0	1	24	0	1	59
咽頭結膜熱	1	0	0	1	2	0	1	8	0	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	3	7	8	2	25	3	2	7	63
感染性胃腸炎	46	3	4	43	8	26	42	11	12	195
水痘	4	1	0	1	1	2	4	3	2	18
手足口病	20	7	6	36	11	26	4	11	6	127
伝染性紅斑	2	6	0	3	0	0	2	3	0	16
突発性発しん	10	2	1	1	2	4	4	1	1	26
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	5	0	0	6	6	5	5	0	4	31
流行性耳下腺炎	38	6	1	1	0	1	3	1	0	51
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	6	2	0	2	0	0	2	1	0	13
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成23年10月5日（11時）現在（インフルエンザ定点数　68/69、小児科定点数 47 /48 、眼科定点数 9/9、基幹定点数　9/9）の報告数を基に作成しています。最新の情報については、HPをご確認ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/2011w_1.php

山口県感染症情報センター（山口県環境保健センター内）
電話：083-922-7630　FAX：083-922-7632
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/